

大雨や台風の気象情報に注意して 早めの防災対策・避難行動を!!

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮による自然災害が発生しやすい季節です。皆さんが早めの避難などの防災行動をとることができよう、気象庁は様々な「防災気象情報」を発表しています。時間を追って段階的に発表される「注意報」や「警報」などの防災気象情報を有効に活用

し、早め早めの防災行動をとるようにならしましょう。



大雨や台風による災害は 毎年発生しています

大陸と大洋にはさまれた日本には、季節の変わり目に梅雨前線や秋雨前線が停滞し、しばしば大雨を降らせます。また、7月から10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風などをもたらします。

特に、傾斜の急な山や川が多い日本では、台風や前線による大雨によって、崖崩れや土石流、川の氾濫などが発生しやすく、人々の生活や生命が脅かされるような自然災害が、毎年のように発生しています。

近年でも顕著な災害を起こしたもののだけでも、平成23年台風第12号による大雨（死者82名、行方不明16名）、平成26年8月豪雨（死者84名、住家被害13490棟）、平成27年9月関東・東北豪雨（死者8名、住家被害19723棟）など、風水害がいくつも発生しました。

近年は、短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨も頻発しています。特に道路が舗装された都市部では、川の急激な増水、道路や住宅の浸水、地下街の水没といった被害も発生しています。

また、雨で増水した川を見に行つて流されてしまつたり、浸水した道路で側溝の境界が見えにくいために転落したりする事故も発生しています。

◆最近の風水害

平成27年9月関東・東北豪雨
(平成27年9月9日〜11日)

台風や前線の影響で、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、特に関東地方で600ミリ、東北地方で500ミリを超えたほか、9月の月降水量の平年値の2倍を超える大雨となったところがありました。土砂災害、浸水、河川の氾濫等が発生し、宮城県、茨城県及び栃木県で死者8名の人的被害、全国で19723棟の住家被害が発生するなど甚大な被害となりました。



平成27年9月10日午後2時ごろの思川の様子

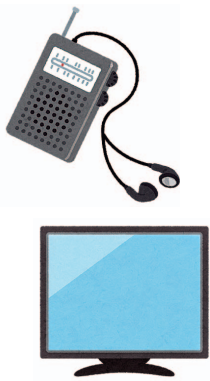
台風などによる大雨、洪水、暴風が引き起こす様々な被害を防ぐために、国や都道府県では、土砂災害防止のための砂防設備の整備、崖崩れ防止のための防護壁の整備、川の氾濫を防止するための治水工事など、様々な防災対策を行っています。しかし、こうしたハード施設での対策を行っていても、自然の力が勝れば、災害は発生します。

災害から命を守るためには、国や都道府県、市区町村が行う対策などの「公助」だけでなく、私たち一人一人の「自助」、すなわち災害に対する備えをしておく、危険を感じたら早めに避難するなど、自らの命を守るための防災行動を起こすことが重要です。

そのような「自助」のために役立つのが、気象庁が発表している「防災気象情報」です。皆さんが早めの防災行動をとれるよう、気象庁は大雨や台風などに関する防災気象情報を随時提供しています。

災害が起こるおそれのあるときには「注意報」、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」、さらに、重大な災害が起こるおそ

「防災気象情報」を活用し、
大雨や台風への備えを



れが著しく大きいときは「特別警報」を発表し、注意や警戒を呼びかけます。

これらは原則として、市区町村ごとに発表され、市区町村は、警報などを受けて、ハザードマップなどに基づく危険な区域の住民に対して、避難準備情報、避難勧告、避難指示の発令を検討します。

また、気象庁では、警報や注意報に先立ち、「大雨に関する気象情報」や「台風に関する気象情報」などを発表しています。天気予報やニュースで「気象庁では、大雨(台風)に関する情報を出して警戒を呼びかけています」という言葉が流れたら、その後の気象情報に注意してください。テレビやラジオ、気象庁ウェブサイトの「防災情報」ページなどで、最新の気象情報を入力するよう心掛け、時間を追って段階的に発表される「気象情報」「注意報」「警報」や「土砂災害警戒判定メッシュ情報」などを活用して、早め早めの防災行動をとるようにしましょう。

日頃からハザードマップで危険箇所をチェック!

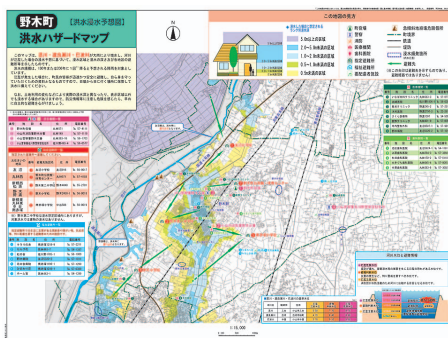
大雨や台風ときには、増水した川、急傾斜地など、危険な場所には近づかないようにしましょう。避難するときも安全なルートを通って移動できるよう、日頃から、町が作成している「野木町洪水・道路冠水ハザードマップ」を活用して、危険箇所を確認しておきましょう。

ハザードマップは、過去に発生した災害の被害状況をもとに、台風や集中豪雨による洪水、土石流や崖崩れなど、大規模自然災害における被害発生状況を予測し、地図に書き込んだものです。ハザードマップには、河川が氾濫した場合に浸水が予想される地域、土砂災害の発生する危険性のある地区が示されていますので、あらかじめ知っておくことで、早めに避難行動をとったり、危険を回避して移動したりすることができます。

なお、ハザードマップを確認することは重要ですが、過信は禁物です。ハザードマップで危険な地域になっていなくても、「うちは大丈夫」「まだ大丈夫」と甘くみないで、早めに避難行動をとりましょう。

また、台風ときには、台風が

通り過ぎたり、温帯低気圧に変わったとしても、吹き返しの強い風が吹いたり雨が降り続いたりすることもあります。警報や注意報が解除されるまでは、警戒を続けましょう。



野木町の洪水ハザードマップ
※町ホームページで閲覧できるほか、町総務課消防交通係でも配布しております。

雨や風が強くなる前に、家屋の補強などの対策を

雨が降ったり、風が強くなったる前に、窓や雨戸はしっかりと閉め、必要に応じて補強する、側溝や排水溝は掃除して水はけをよくしておく、風で飛ばされそうなものは飛ばないように固定したり、家の中に格納したりするなど、家の外の備えをしておきましょう。雨や風が強くなつてからでは、外での作業は危険です。

非常持ち出し品の一例

リュックサックにまとめてすぐに出せるようにしておきましょう。

- 食料品など
飲料水、乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰、粉ミルク、ほ乳びんなど
- 医薬品など
救急医薬品、常備薬、マスク、紙おむつ、生理用品など
- 貴重品、お金
現金(小銭も)、預金通帳、印鑑、健康保険証、身分証明書など
- 衣類
下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴など
- 日用品
ナイフ、缶切り、鍋、水筒、懐中電灯、ラジオ、電池、クイック、マッチやライター、使い捨てのカイロ、ティッシュ、筆記用具、ゴミ袋など
- その他
防災ずきんやヘルメット、予備の眼鏡、地図など



野木町防災たよりにご登録を!!



一人ひとりが「自らの身の安全は自ら守る」という防災の基本に基づきぜひご登録ください!!

野木町では、大雨や大雪等の気象警報・特別警報や、大型の地震の震度速報、ゲリラ攻撃情報等の国民保護関係情報など、緊急性のある防災に関わる情報を登録制メール「野木町防災たより」で配信しています。

簡単に登録ができますので、皆様のご登録をお願いします。

配信する情報の種類

緊急地震速報（震度4以上）、震度速報（震度4以上）、気象警報・特別警報（暴風雪、大雨、洪水、暴風、大雪）、竜巻注意報、国民保護関係（弾道ミサイル情報、航空攻撃情報、ゲリラ・特殊部隊攻撃情報、大規模テロ情報）

※震度速報については、栃木県南部が対象になっていますので、野木町で震度4以上の地震でなくても配信される場合があります。

登録方法

携帯電話で登録する場合・・・右のQRコードを読み込むか、「77700003 @ bousai-nogi.jp」に空メールを送信し、返信メールにより会員登録をしてください。

パソコンで登録する場合・・・「<http://www.bousai-nogi.jp/memberentry-accept/?s=77700003>」にアクセスしていただき、会員登録受付ページより会員登録をしてください。



緊急速報メールで災害・避難情報を配信します

野木町では、多くの町民の皆さまに迅速に防災情報を伝達するため、サイレン・広報車による巡回などの方法の他に、緊急速報メールを配信しています。（NTTドコモ、au、ソフトバンク）

緊急速報メールとは

携帯電話向けの災害情報伝達サービスで、野木町内に滞在し、かつ当該サービスの受信機能を持つ携帯電話に緊急情報をお知らせするものです。緊急地震速報メールと同じ仕組みを使用しています。

緊急速報メールの特徴

1. 月額使用料や受信料は無料です。
 2. 受信するために登録する必要はありません。
 3. 専用の着信音とポップアップ画面により、いち早く情報を確認することができます。
 4. 観光や仕事などで野木町を訪れた方も受信することができます。
- ※地域によっては他市町の緊急速報メールを受信することがありますのでご注意ください。

配信する情報の種類（緊急性の高い以下の7種類）

避難準備情報、避難勧告、避難指示、弾道ミサイル情報、航空攻撃情報、ゲリラ・特殊部隊攻撃情報、大規模テロ情報

配信例

件名「野木町避難勧告情報」

本文「野木町役場からお知らせします。思川が警戒水位を超えました。〇〇地域にお住まいの方につきましては、ただちに〇〇へ避難してください。」

その他

携帯電話の電源がOFFまたは圏外、通話中、受信設定がされていない場合は、受信はできません。対応機種や受信の設定方法などの詳細は、各携帯電話会社にお問い合わせください。

【NTTドコモ】総合お問い合わせ 0120-800-000（ドコモ携帯電話から局番なし 151）

【au】総合案内 0077-7-111（au携帯電話から局番なし 157）

【ソフトバンク】総合案内 0800-919-0157（ソフトバンク携帯電話から局番なし 157）